

パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<アドバンス>

パーソンセンタード・リスニング・トレーニング 第2回

「人間尊重の心理学」を体験的にさらに学ぶ

担当者	青木 剛（南山大学人文学部心理人間学科 講師） 並木 崇浩（愛知淑徳大学学生相談室） 山根 倫也（関西医科大学精神神経科学講座研究員）
概要	<p>パーソンセンタード・アプローチとは、アメリカの臨床心理学者、カール・ロジャースが発展させた人間尊重のありようや姿勢をさします。ロジャースは、当初、「クライアント中心療法」という今日のカウンセリングや心理療法の基礎理論を発展させましたが、のちに、そういった心理臨床の世界に留まらない、様々な場面での人間尊重の姿勢を重視するパーソンセンタード・アプローチを展開していきました。</p> <p>パーソンセンタード・アプローチは、人は誰しも自分のもつ可能性を発揮したいという傾向（実現傾向）への信頼と、自分も相手も大切にするという自他尊重の関係性の探求が基本です。こういった考えは心理臨床家に限らず、教育者も、看護者も、グループやコミュニティでの実践者も大切な視点といえるでしょう。</p> <p>このワークショップではパーソンセンタード・アプローチの基礎概念が理解されていることを前提として、その基礎概念をいかしたパーソンセンタード・リスニングを体験的に学ぶことを目的としています。2日間、自分と相手を味わうことを基盤とし、味わう中で生まれる実感を活用したパーソンセンタード・リスニングのそれぞれなりの手がかりをつかめればと思っています。</p> <p>パーソンセンタード・カウンセリングについて学びたい心理臨床家、カウンセラー、人間中心の教育について学びたい教育関係者、子どもとの対話を深めたい親や養育者、対話ある職場をめざす企業関係者など、自分も相手も大切にしたい関係に関心を持つ方などをターゲットに考えています。</p> <p>なお、このワークショップは<アドバンス>とあるように、既に予定されている<ベーシック>を修了していることを前提としてプランニングされています。この<アドバンス>としてのパーソンセンタード・リスニングでは、<ベーシック>での体験をふまえて、さらに傾聴についての理解を深めます。</p>
日程	2023年9月30日(土)10:00~17:00 10月1日(日) 9:30~17:00
定員	30名
会場	南山大学 D棟 D51教室
参加資格	パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<ベーシック>を修了していることが前提となります。
受講料	18,560円<税込>
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 青木 剛 記</p> <p>2023年9月30日(土)10月1日(日)に、第2回パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<アドバンス>が対面で開催され、全国から16名の方にご参加いただきました。とても熱心にワークに取り組んでいただき、参加者相互の刺激もあったように見受けられました。担当者としてもありがたく思いました。それぞれの方が過ごされている日常の場や職場は違えど、それぞれの場で活かせることを思いながらご参加いただいていたように思います。それぞれの方がPCAの種や芽を持って帰っていただき、それぞれのやり方で芽吹かせ実らせていただけたらと願うばかりです。人を尊重するかわかり、聴き方の実現は実際は難しいことで、そうした実感を持たれた方もいらっしゃいましたが、難しさを実感するところから改めて自分なりに実現するには何が必要かを考えることができるのだと思いますので、それ自体も大切な体験だと思っておりました。初めて参加される方はもちろんですが、日ごろの人とのかかわりをそんな風に改めて捉えなおすことができる場ともなればと思っておりますので、繰り返しご参加の方にもそのように活用いただける場となるように今後も運営していけたらと思います。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。</p>